

めざす児童像

- ・ 未来を創る
(しなやかな発想で可能性を模索し、新たな価値観を見つけることができる力)
- ・ 自ら考え、選び行動する
(経験や知識から根拠を持って判断することができる力)
- ・ 他者を大切にする
(人の多様性を認め、対立を克服することができる力)

めざす教師像

- ・ 子どもが憧れる豊かな人間性
- ・ 柔軟で実践的な専門性
- ・ 開かれた社会性

学校教育目標

社会の中でよりよく生きていくための力を育てる

「子どもの未来に責任を持ち、みんなが安心できる学校へ」

今年度の重点目標

- 1 凡事徹底
- 2 確かな学力を育む学習機会の確立
- 3 人権教育の推進

授業づくり(学力)

新しい時代に必要な資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。

- ・ 全国学力・学習状況調査の結果を分析した結果(課題)に正対した取り組みを全学年で実施
- ・ 教員の授業研修(国語科)の充実
- ・ 学習規律(条東小スタンダード)の徹底
- ・ 食育・体育(児童の健康)を意識した教科指導の実践
- ・ タブレット端末の積極的活用

家庭学習の充実(家庭支援)

タブレット端末にある学習支援ソフトを活用することで、個別最適化された学びの環境を最大限に活用し、学校と家庭での学びをリンクさせるとともに、子どもの主体的な学びが実現される授業を行う。

- ・ ICT を最大限に活用した授業改善
- ・ 学習ソフトの有効活用

保護者

学校運営協議会



条東みらい応援隊

教職員

性の多様性の理解(人権)

誰もが自分らしく生きることができる社会(学校)をめざし、性自認や性別表現の多様性に関する児童・保護者・地域の理解の促進を図る。

- ・ 道徳の授業、特別活動、保健体育の授業を通じて、児童の性の多様性に関する理解を加速的に推進し深める。
- ・ 保護者・地域へ理解を図るため、参観等の授業や講演会を通じての啓発活動を実施

不登校・長期欠席児童支援(児童支援)

従来の教育活動の枠に収まらない子どもたちが年々増え続ける中、本校に設置している校内適応指導教室(メイト)等を活用し、新たな学びのスタイルを必要としている児童の支援を行う。

- ・ 適応指導教室(メイト)の効果的活用
- ・ タブレットを活用したオンライン授業の研究